

性の公共性の変容

— 2000年代における性的少数者運動団体の軌跡から —

戸梶 民夫

(京都大学大学院文学研究科グローバルCOE 研究員)

2011年3月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

本研究では、在阪性的少数者運動団体に参与観察を行いながら、00年代を通じて当団体の中で性的問題を語り団体の繋がりを作る言説に大きな変化が見られることを明らかにした。具体的には、従来のアイデンティティやクイア政治のような性の抑圧の経験共有や抵抗ではなく、性を私的問題へと一程度マネージメントできる存在であることを互いに確認し合うリベラルな語り口が団体の中へと介入し、従来の語り口とバッティングしながら、団体の繋がりを見直し再編成していくプロセスを見ることができた。

キーワード：アイデンティティ、クイア政治、マイノリティ、自由主義

2009年度次世代研究「公共性の再編成と不可視化する構造的弱者 ー在阪性的少数者団体におけるゲイ男性とトランスジェンダーの分断の事例からー」（研究代表：戸梶民夫）による成果である。

【メンバー】 （ ）内は2009年度プロジェクト時点

戸梶 民夫 （京都大学大学院文学研究科 博士後期課程）